

よいことのために
手を取りあおう
UNITE FOR GOOD

第2670地区テーマ

地域密着の
ロータリーを目指そう



中村ロータリークラブ

例会記録 (2025～2026)

会 長/川 村 公 彦

幹 事/久 保 田 美 世

会報委員長/永 木 寛

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2847

第2978回 令和7年8月20日（晴れ）

本日のプログラム：ゲストスピーチ 佐藤 幸洋様 元愛南町緑郵便局長

8月27日(水)：新改 心優様 短期交換プログラム派遣学生

9月3日(水)：ゲストスピーチ 東 貴美様 とんぼ公園理事

【会長挨拶】川村 公彦会長

皆さんこんにちは。まずは細則第3条第1節に従い、会長ノミニーの選出方法を協議します。指名委員会という声に従いまして、指名委員会で行うことに決定します。委員長は井上克彦会員です。

今日はお盆について簡単にお話します。7月15日というのは、仏教で盂蘭盆会（うらぼんえ）ということになっておりますが、もっと古い時代では、中国の道教が日本に入ってきた時に、三元の日というのがございます。上元が旧暦1月15日、中元が旧暦7月15日、下元が旧暦10月15日となっています。何をするかというと、ご先祖様の供養と自分の罪汚れも反省するという意味も含んでおります。特に夏はご近所様からご先祖様へのお供えをお配り物をするという風習があり、それが中国の盂蘭盆会と一緒に、旧暦の7月15日がお盆になったと言われています。

今日は以上でございます。

【幹事報告】久保田 美世幹事

- ・「ハイライト よねやま305号」配信
- ・ガバナー事務所より第54回ロータリー研協会の案内 11月11日～20日
- ・2026年台北国際大会通信8月号拝受
- ・一般法人比国育英会バギオ基金「バギオだより」7月号を拝受。
- ・ロータリー選抜野球大会の冠となっている千 玄室PGの訃報拝受。
- ・菊池ロータリークラブより本年度クラブ計画書が配信

【委員会報告・会員発言】

■一藤 青少年奉仕委員長

地区補助金事業「ピアノカと子どもたちとローカル列車」をテーマに、ピアノカのコンサートを土佐くろしお鉄道で演奏する企画です。

10月26日（日）12:29発（中村駅➡宿毛駅）

■嶋村 野球部応援団長

野球部へのご支援ご協力をよろしくお願い致します。



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 佐藤 幸洋様 元愛南町緑郵便局長



■1980～81年 AFS 交換留学生として

皆さんこんにちは。まずは自己紹介させていただきます。1962年、愛媛県愛南町の出身で、県立南宇和高校卒業後、青山学院大学に進学。卒業後はアロンアルファでおなじみのコニシ株式会社で約10年間営業を勤めました。2001年に故郷の愛南町に家族でUターンし、郵便局長を22年間、2023年まで務めました。退職後の現在は、地区の区長を務めながら、家庭菜園や耕作放棄地の草刈りなどで汗を流しています。

本日は1980-81年の留学経験についてお話させていただきます。（※スライド参照にて紹介）

実はロータリークラブでスピーチするのは今回2回目で、前は1981年ニューヨークでした。AFS交換留学生としてアメリカのNY州ルロイハイスクールへ留学しました。全国から100人が選抜され、UCLAで数千人の各国留学生が集まるオリエンテーションに参加。留学先のホストファミリーは中流家庭で、良好な関係を築きました。夏休みには湖でピクニックやカヌーを体験。レイクプラシッドやニューヨーク、ボストンなどを訪問しました。10月14日の誕生日にはホストファミリーからボブ・ディランのレコードなど興味のあるものをプレゼントされました。冬はスキーを楽しみ、クリスマスはホストファミリーと過ごしました。ホストマザーとホストブラザーは既に他界しているが、彼らとの絆は深かったです。

勉強は毎日2、3時間の宿題をこなし、数学はクラストップの成績を収めました。高校ではサッカー部に所属し、地域チームでも活動、3部リーグからスカウトされるも就職のため帰国しました。

米国での学校生活は様々な音楽活動など楽しみながら高校生活を満喫しました。

留学中の日記を45年ぶりに読み返し、当時の愚かで傲慢な自分と向き合うのは気恥ずかしくも勇気のいることだったが、留学体験が人生の宝物であることを再認識しました。

留学を通じて、アメリカのプレゼント文化は非常に温かく、到着時にはホームシックにならないよう便箋やフルーツ、キャンディが部屋に用意され、誕生日には興味のあるものが贈られました。英語には現地でしか分からない微妙なニュアンスが多い。例えば「I'm sorry」が「残念に思う」という意味になる場合や、「liar」が宗教的背景から非常に重い侮辱となることなど日本人はまず母国語である日本語をしっかり学ぶべきだと思います。私は幼少期からの英語教育には反対です。母国語を身につけることで、英語の微妙なニュアンスも理解しやすくなるでしょう。

最後にクイズです。プレゼント上手なホストファミリーが別れの際、私にくれたプレゼントは何だったでしょう？

正解はこちら「玄関の鍵」でした。ホストマザーから「いつでも帰って来てください。ここはあなたのアメリカの家です」と言って渡されました。ペンシルバニアに向かうバスの中で泣いてしまったことを覚えています。

本日はこのような機会を設けていただきありがとうございました。

【ニコニコ箱】

川村会長：佐藤様、素敵なスピーチありがとうございました。

久保田幹事：佐藤様、今日はありがとうございました。正しく同じ歳なので時代が懐かしかったです。

携帯電話、お騒がせしてすみませんでした。

小西会員：佐藤さん、楽しいスライドトークありがとうございました。

上野会員：佐藤様、素敵なプレゼントありがとうございました。

永木会員：8月4日から7日まで行われた全日本バレーボール小学生大会に参加させていただきました。

一勝もできませんでしたが良い経験になりました。

【出席報告】 ・会員総数59名（免除会員6名）

・本日の出席/35名 72.92%

・先週の訂正 MU13名 65.31%→91.84%